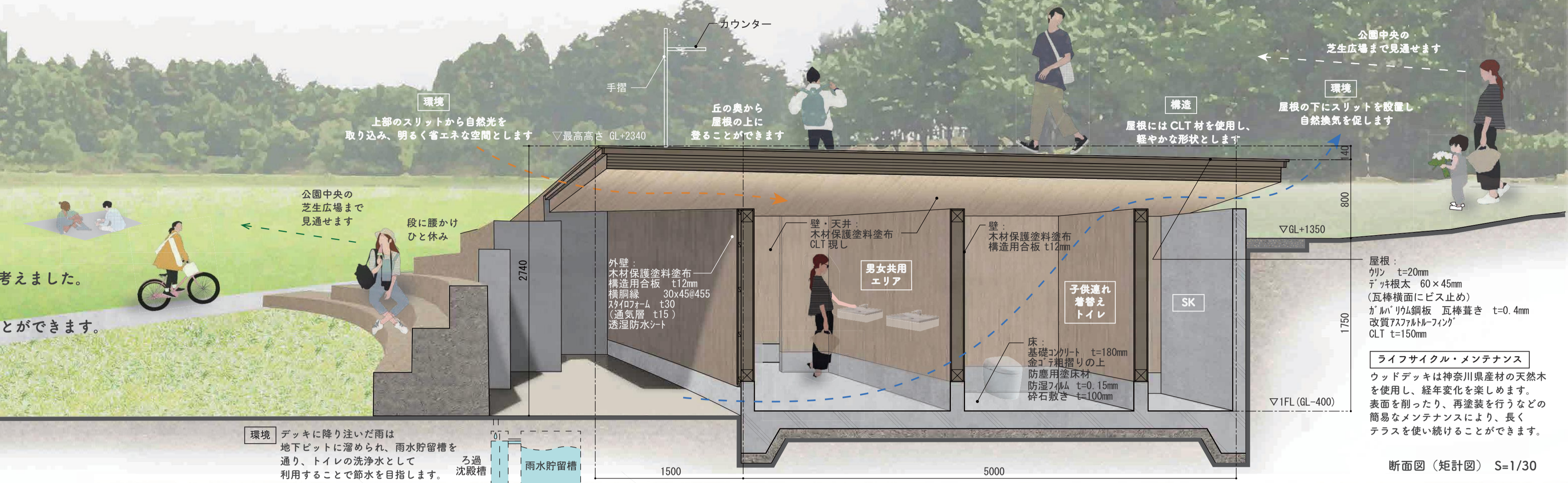


# 丘に寄り添う とまり木テラス

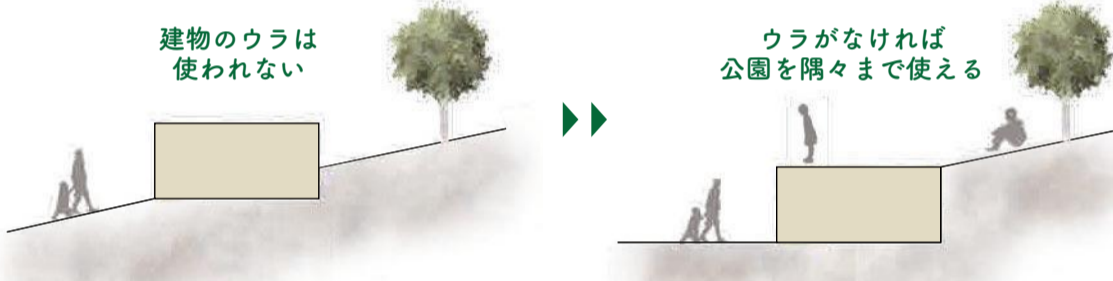
広大な自然の中で1日を過ごしていると、散策中のひと休み、食事の前の手洗いうがい、ランニング時の水分補給、イベントの際の待ち合わせ、など公園での活動のあいまに行う“ちょっとしたコト”が多くあることに気がきます。どんぐりの森の小高い丘には、自然の中で必要な“ちょっとしたコト”を支えられるよう、公園内の様々な場所から、“とまり木”のようにふと立ち寄ることのできる“ちょっとした場所”を提案したいと考えました。

豊かな地形に寄り添うこの“とまり木テラス”は、全ての方向から、それぞれの斜面の高さでアプローチすることができます。子どもから大人まで幅広い人々の、自然の中での活動風景の一部となることを目指します。



## 1. ウラをつくらない

計画地は、レジャーシートを敷いてピクニックを楽しむ人も多い、小高い丘のような場所。晴れた日は日陰を求め、木に覆われた敷地奥まで目一杯使われます。公園の隅々まで使えるよう、ウラのない建物を考えました。



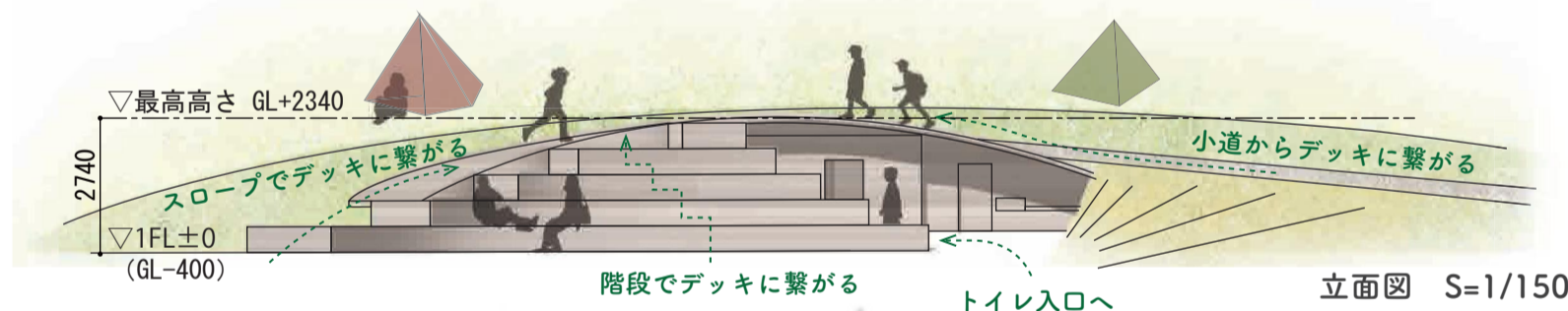
## 3. 自然の中の“ちょっとしたコト”

自然の中で必要な“ちょっとしたコト”を支えられるよう、公園内の様々な場所から、ふと立ち寄ることのできる“ちょっとした場所”を提案します。



## 2. まわりとつながる

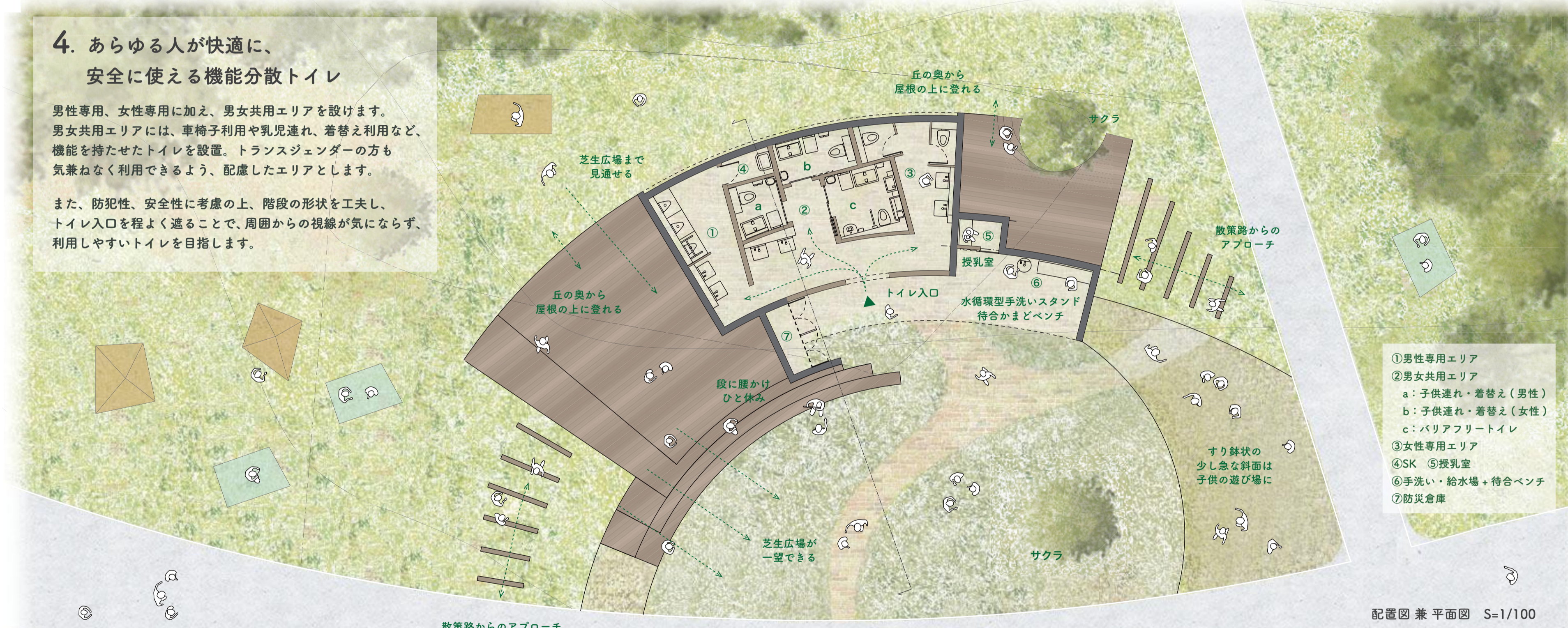
この丘に座ってみると、広大な芝生広場を一望できる眺めの良い場所でした。そこで、丘の斜面に寄り添う、なだらかなデッキを考えました。デッキは散策路からゆるやかにのぼるテラスでもあり、地面にもぐるトイレの屋根でもあります。スロープをかけ回ったり、段に腰かけて公園を見渡すことができます。



## 4. あらゆる人が快適に、安全に使える機能分散トイレ

男性専用、女性専用に加え、男女共用エリアを設けます。男女共用エリアには、車椅子利用や乳児連れ、着替え利用など、機能を持たせたトイレを設置。トランスジェンダーの方も気兼ねなく利用できるよう、配慮したエリアとします。

また、防犯性、安全性に考慮の上、階段の形状を工夫し、トイレ入口を程よく遮ることで、周囲からの視線が気にならず、利用しやすいトイレを目指します。



### “ふと”が“もつど”に - 使い方の発展 -

マラソン大会のゴール、表彰式  
屋外演奏 屋外映画上映

前庭を広く、散策路や芝生広場に対してオープンにすることで、イベントの開催時、人々の集う拠点として利用することができます。

キッチンカーによる飲食物の提供  
フリーマーケット

### フェーズフリーな公園に - 防災計画 -

アウトドアグッズが災害時に役立つように、身のまわりのモノやサービスを、日常時・非常時ともに役立てることができる。「フェーズフリー」の考え方。

かまどベンチや、水循環型手洗いスタンド等、「フェーズフリー」なモノを設置することで、日常時も非常時も、市民の拠り所となる公園を目指します。

(出典：一般社団法人フェーズフリー協会)

### 景をつなぐ5つのとまり木の計画 - 将来展開 -

本計画に続く4つの施設計画の展開

- イチョウの森
- ぼうけんの森
- ステージ
- ステーション
- 根岸の森
- はじまりの森
- カフェ
- レストハウス (改修)

公園内のひと繋りの散策路沿い、5つの森それぞれに、更なる施設を展開計画する提案です。

森での活動のきっかけとなったり、より活発な活動が期待できると考えます。